

「Surely」の設備全般を制御する。送液電磁弁の閉鎖と冷凍機の冷媒回収運転を行い、ユニットクーラー内のアンモニアをほじめ、クーラーと冷凍機を結ぶ送液配管や吸入配管内のアンモニアを冷凍機側に回収する。すべての回収作業を終えたら、冷凍機が停止する仕組み。

ガス回収運転時には圧力差を利用して冷凍機側にアンモニアを引き込み、この際、圧力調整を誤ると冷凍機を異常停止させてしまう恐れがあるが、長谷川鉄工はアンモニア冷凍機製造の草分けで、アンモニア冷媒の取り扱いには豊富な経験を持つ。冷凍機の負荷を軽減しながらアンモニアを冷凍機側に引き込む技術について、蓄積したノウハウを生かした。検知警報器はセンサーメーカーのバイオニクス機器（社長＝小宮弘隆氏、本社・東京都東大和市）と共同開発した。電気化学センサーによる濃淡電池方式を採用しており、低温環境（零下25度C）下の使用が可能。検知対象を冷凍倉庫内のアンモニアガスとし、干渉ガスが少なく、特に100%水素ガスにも干渉しないという。

NH₃漏洩対策で低温施設用新システム

長谷川鉄工

し、設備全般を制御する。送液電磁弁の閉鎖と冷凍機の冷媒回収運転を行い、ユニットクーラー内のアンモニアをほじめ、クーラーと冷凍機を結ぶ送液配管や吸入配管内のアンモニアを冷凍機側に回収する。すべての回収作業を終えたら、冷凍機が停止する仕組み。

「Surely」の設備全般を制御する。送液電磁弁の閉鎖と冷凍機の冷媒回収運転を行い、ユニットクーラー内のアンモニアをほじめ、クーラーと冷凍機を結ぶ送液配管や吸入配管内のアンモニアを冷凍機側に回収する。すべての回収作業を終えたら、冷凍機が停止する仕組み。

「Surely」の設備全般を制御する。送液電磁弁の閉鎖と冷凍機の冷媒回収運転を行い、ユニットクーラー内のアンモニアをほじめ、クーラーと冷凍機を結ぶ送液配管や吸入配管内のアンモニアを冷凍機側に回収する。すべての回収作業を終えたら、冷凍機が停止する仕組み。

「Surely」の設備全般を制御する。送液電磁弁の閉鎖と冷凍機の冷媒回収運転を行い、ユニットクーラー内のアンモニアをほじめ、クーラーと冷凍機を結ぶ送液配管や吸入配管内のアンモニアを冷凍機側に回収する。すべての回収作業を終えたら、冷凍機が停止する仕組み。